

関係所属団体各位

第80回全日本体操団体選手権男子出場枠について
第81回全日本体操個人総合選手権男子出場枠について

(公財)日本体操協会
男子体操競技強化本部
大会運営委員会

第80回全日本体操団体選手権および第81回全日本体操個人総合選手権における男子出場枠が決定しましたのでお知らせいたします。

2026度は、アジア競技大会(9月)並びに世界体操選手権大会(10月)の開催直前に全日本シニア選手権が開催されることとなりました。このため、これらの大会に出場する日本代表選手が強化および調整の準備期間を十分に確保する観点から、全日本シニア選手権を欠場した場合、第80回全日本団体選手権の出場枠および第81回全日本個人総合選手権の出場枠の獲得に対して特別措置を講ずるものとします。全日本学生体操競技選手権を欠場してもこの措置の対象といたしません。

1. 第80回全日本体操団体選手権

No.	基準	チーム数
①	第59回全日本シニア体操競技選手権大会と第80回全日本学生体操競技選手権(1部・2部)の得点を並べる ※大会結果とは別に6-6-3で通過順位を決定する	12
②	令和8年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)上位2チーム	2
③	2026全日本ジュニア体操競技選手権大会(全日本 Jr1部)上位1チーム	1
④	U20ナショナル選抜チーム 1チーム	1
	合計	16

- * ①の団体メンバーが6名に達しない場合は、予選となる各大会で団体出場していることを条件として、5名の場合は 5-5-3、4名の場合は4-4-3で再計算する。ただし、チームが3名以下となり、団体戦が成立しなかった(チーム解体)場合は選出対象としない。
- * アジア競技大会および世界選手権の代表選手(正選手のみ対象とする)が全日本シニア選手権を欠場する場合には、例外として全日本団体選手権出場のための団体得点再計算を行う。この場合、チームとして4名以上いることを条件とする。団体得点を再計算する大会は全日本個人総合予選・決勝、NHK 杯1日目・2日目の4試合とし、4試合のうち得点の高い2試合の得点の平均を採用し団体得点に置き換える。
- * ④のU20ナショナル選抜チームが編成できない場合、①の次点チーム(13位)に出場権を与える。

2. 第81回全日本体操個人総合選手権

No.	基準	通過者数
①	第59回全日本シニア体操競技選手権大会	15名
②	第80回全日本学生体操競技選手権(1部・2部)	15名
③	①②で選出した選手を除いて、全日本シニア選手権と全日本学生選手権1部・2部の得点を並べる	16名
④	ジュニア選手枠 ※A 枠(3年生含む): インターハイ上位3名、全日本 Jr 上位2名 ※B 枠(2年生以下): インターハイ上位1名、全日本 Jr 上位1名、 高校選抜上位3名	10名
⑤	協会推薦	6名
⑥	第81回全日本体操個人総合選手権トライアウト	10名
	合計	72名

* 世界体操選手権およびアジア競技大会の代表選手が全日本シニア選手権を欠場した場合、全日本体操個人総合選手権予選・決勝、NHK 杯1日目・2日目の4試合のうち得点の高い2試合の得点の平均を採用し、全日本学生選手権と全日本シニア選手権の選手と同様に得点を並べて順位に応じた権利を得ることとする。

* トライアウトに関しては、後日通達します。

以上